

東日本大震災被災地・被災者のみなさんへ

市内各団体から寄せられた

「復興へのエール」

東日本大震災発生から3カ月。甚大な被害をもたらしたこの災害で、東北・関東地方には、まだまだ多くの被災者のみなさんが、避難生活を送っています。こころしたみなさんや、被災地復興への力になるべく、各団体が支援活動を行ってききました。

国境を越えた祈りの歌声

4月に震災や福島原発の影響によって、住み慣れた故郷を後にした一部の被災者のみなさんが、印西市へ避難されてきました。

見知らぬ土地で慣れない避難生活を送るみなさんに勇気を、そして、亡くなられた多くの犠牲者に哀悼の意を表する「日露友好震災支援コンサート」が、4月9日に総合福祉センターで

開催されました。

このコンサートは、ロシア連邦外務省在日ロシア大使館文化部、日本・ロシア協会、印西市印西市ボランティア協会の後援を受けて、実行委員会のみなさんが主催。

当日は、大正琴サークルの演奏のほか、NHK「みんなのうた」で知られるロシアの歌姫、エカテリーナさんも出演しました。エカテリーナさんが、キーボードを弾きながらロシア民謡「バイカル湖のほとり」



ロシアの歌姫エカテリーナさんが日本語とロシア語を交えた歌を披露

を日本語の歌詞を交えて歌うと、会場からは盛大な拍手が。ほかにも「ハナミズキ」「涙そうそう」など、日本ではおなじみの歌も披露し、最後に思いを込めた童謡「ふるさと」を来場者と一緒に歌いました。



▲完成した枕は関戸さん(中央)たちの手から山崎市長の手へ



▲会場からは盛大な拍手が送られました

温もりの架け橋になった枕

「避難所では毛布の配給はあっても、枕などの配給は乏しい」と、あるテレビ番組でそんなコメントを聞いた関戸月子さん。

「それならば枕を作って送ってあげてはどうか」と考え、自ら代表を務める印西市高齢者クラブ連合会女性部、そして印西市ボランティア協議会、婦人

部、手芸サークル「お針箱」と共同で、手作りの枕を作成しました。完成した枕は100個ほど。これらは一個ずつにメッセージが添えられ、4月21日、総合福祉センターで行われた印西市高齢者クラブ連合会総会で、高齢者クラブ本誌支部が募った義援金と共に山崎山洋市長に手渡されました。

その後、被災地となった気仙沼市から気仙沼高校野球部が、我孫子東高校へ遠征に來ることとなり、その臨時の宿泊先が市内の総合福祉センターに決定。支援物資として被災地に送られる予定だった枕は、義援金と共に気仙沼高校野球部のみなさんの手で、被災地の避難所のみなさんの元へ直接手渡されることとなりました。

受け取った野球部のみなさんは「ありがとうございます。必ず避難所のみなさんへお届けします」と、温もりのこもった枕を手に感謝の言葉を述べました。



▶印西市から遠く気仙沼市へ、温もりの架け橋となった枕を手にする気仙沼高校野球部のみなさん。

2011 スペシャルオリンピックス夏季世界大会 堀口明奈さん(小林)が テニス代表選手に



▲代表選手になった堀口明奈さん

スペシャルオリンピックとは、知的発達障がいのある人の自立や社会参加を目的として、日常的なスポーツプログラムや、成果の発表の場としての競技会を提供する国際的なスポーツ組織です。堀口さんは、今年、ギリシャのアテネで行われる夏季世界大会に、テニスの代表選手として出場が決定しています。

堀口さんは、船穂中時代に軟式テニスを経験。以後、スペシャルオリンピックのプログラムに参加し、2006年(熊本)・2010年(大阪)の国内大会で選手団に参加を果たしています。

大会への抱負では「練習してきたのでメダルが欲しい。それに、世界の人と友だちになりたいです」と語っていました。

市のB級グルメが学校給食に登場

大好評 印西みそピーから揚げ



▲滝野小では全部ペロリ

生徒は大はしゃぎ。中には「毎日食べてもいい!」と話す児童もいました。

5月からはイトーヨーカドーでの販売が行われており、こちらも大反響の様子。みそピーから揚げの今後に期待です。團印西みそピーから揚げ普及委員会事務局(印西市商工会内・☎42750)。

昨年、市で行われた「いんざい“ご当地ぐるめ選手権”」でグランプリに輝いた「印西みそピーから揚げ」が4月下旬に市立の保育園、小・中学校の給食に登場しました。

甘いピーナッツ味噌を、子どもたちが大好きな鳥の唐揚げにあえたこのメニューに、児童・



▲木下小でも見事完食

企業のPRに活用できます

バナー広告を募集

市では、ホームページのトップページに、自社のホームページへのリンクができるバナー広告の掲載を希望する企業などを募集しています。

◎掲載料…次のとおり。

【市内に事業所を所有する企業】

月額 12,000 円。

【市外に事業所を所有する企業】

月額 15,000 円。

※掲載要綱など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

團秘書広報課広報広聴班(☎内線 418・419)。